

GOSSEN

Digisix
ゴッセン・デジシックス



GOSSEN日本総代理店

株式会社駒村商会

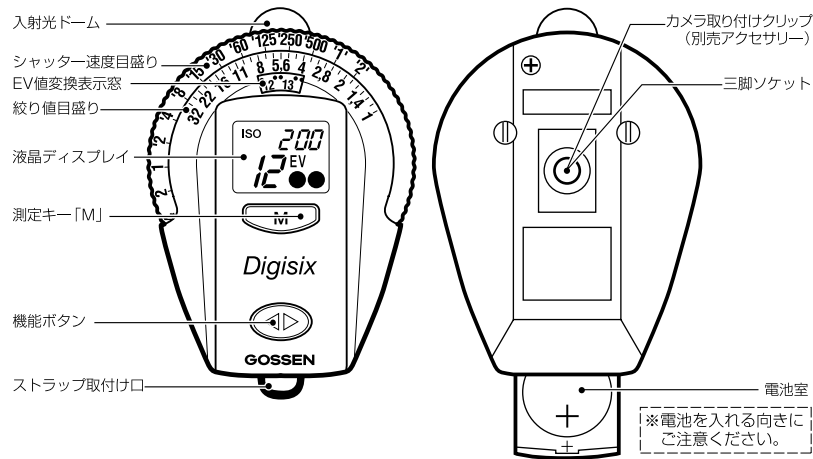
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-2-4駒村ビル

TEL.03-3639-3351 FAX.03-3808-0116

www.komamura.co.jp

取扱説明書

1 各部の名称



デジシックスの特長 2

デジシックスは、定常光用、デジタル表示の小型でスマートなゴッセンの露出計です。デジシックスはゴッセンの高精度計測基準で設定され、コンパクトでありながら機能的と、非常に操作性に優れています。

[デジシックスの主な特長]

- ・入射、反射光測光モード
- ・マイコン制御
- ・LCDディスプレイにデジタル表示、1/3刻み
- ・1/3EV値でコントラスト表示
- ・測定結果を記憶
- ・絞りとシャッター速度の組み合わせを全表示
- ・測定範囲のオーバー/アンダー信号
- ・自動電池チェック
- ・長時間露出用減算タイマー
- ・時計・アラーム機能
- ・温度測定

目次

各部の名称	2
デジシックスの特長	3
デジシックスの機能	
準備とチェック	4
入射光・反射光測定モード	5
ディスプレイ表示の持続時間	5
各機能説明	
フィルム感度設定	6
露出測定	7
コントラスト測定	8
露出基準値変更	9
タイマー機能	10
時計・アラーム機能	11
温度測定	12
取扱上のご注意と修理に関して	13
仕様	14

3 デジシックスの機能

1. 準備とチェック

[電池]

デジシックスの電源は3V電池、CR2032型1個です。電池が弱っているとディスプレイにBATが表示されます。

すぐ電池を交換してください。ディスプレイにBATだけが表示された時は、測光を止めて電池を交換してください。

先ずストラップ用鳩目の下にある電池室を引き出します。

古い電池を取り出し、新しいものと入れ替えます。この際電池の+と-を間違えないように注意してください。

電池室を元通り閉めます。

ご注意 電池を交換するとメモリー内のデータは全て消えます。

[セルフテスト]

新しい電池を入れると、マイコンはセルフテストを実行し、ディスプレイに各種の表示が現れます。セルフテストは約10秒間続きますが、この間どれかのボタンを押すとテストは中断します。

テスト後は標準設定がディスプレイに表示されます。



[標準セッティング表示]

ISO 100/21° COR 0 EV 8

デジシックスの機能 3

2. 入射光・反射光測定モード

[入射光方式]

入射光モードの場合、入射光ドームを左に移動し、測光窓の前に置きます。入射光法による測光は特に露出が完全な写真をつくります。このモードでは露出計を被写体からカメラに向けて測光します。これにより写真のトーンは被写体のそれと一致します。特に明るい被写体、暗い被写体の場合有効です。例えば特にコントラストの強い被写体のような難しい条件では入射光法の方がよい結果を得られます。

[反射光方式]

反射光の場合は入射光ドームを右に移動し、測光窓にかからないようにします。測光は露出計をカメラの位置から被写体に向けて行います。この方法では被写体が反射した光だけを測定することになります。よって測定値は

被写体の反射能力に左右されます。その結果、明るい被写体は暗めに写りがちで、適正に露出されない場合があります。この方法は被写体の明部と暗部の明るさの差があまり大きくない時には便利です。

3. ディスプレイ表示の持続時間

デジシックスは、いつも最後に使用した機能の結果を表示します。電力消費は非常にすくないので、自動的に電源が切れることはありません。

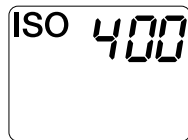
4 各機能説明

機能ボタンを押してデジシックスの機能を順次に選択します。ボタンを押すたびに、機能は順次に起動します。ディスプレイは次の順番で機能を表示します。

露出測定
タイマー
時計
アラーム
温度

次の機能は機能ボタンをいったん離さないで起動しません。機能ボタンを2秒以上押し続けたままにすると、その機能がディスプレイに表示され、要望によって調整できます。

1. フィルム感度設定



「露出測定」機能を選択し、OK信号が鳴るまで機能ボタンを押し続けます。ディスプレイ上では、EVではなくISOが点滅します。

測定キー「M」を使ってフィルム感度を選択します。キー「M」を押し続けるとフィルム感度がだんだん上がってきます。求めるISO値に近付いたらキーを放し、一回づつキーを押して求めるISO値に設定します。キーを一度押しすごとにISO値は1/3刻みで増えます。

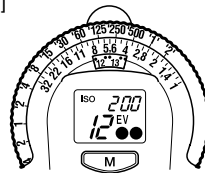
各機能説明 4

2. 露出測定

機能ボタンで「露出測定」を呼び出します。測定キー「M」を短く押すと測光が行われます。

[2-1 測定値読み取り]

測定したEV値がディスプレイ表示されます。EV値の後ろの数字は一つが1/3刻みです。と出れば2/3です。



測定キー「M」を押してシャッター速度目盛りのダイヤルを回し、EV値変換表示窓の数字をディスプレイに表示された数値に合わせます。絞り値とシャッター速度が合ったところが適正露出値です。

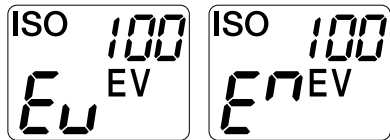
$1200 = 12^{2/3}$ で $1/125$ とすれば、 $5.6^{2/3}$ 絞りという意味です。

機能ボタンをOK信号が鳴り、表示が「Exposure」になるまで押し続け、選択した感度を確認します。フィルム感度はディスプレイの右上コーナーに表示されます。

もし使用フィルムの感度が変わった時は、すぐに設定をやり直し、メモリーに記憶された感度を変更します。一度メモリーに記憶された感度は次に新たな設定がなされるまで残ります。

[2.2. 測定範囲外の測光]

デジックスは測定範囲外の値は表示しません。ディスプレイに「Eu」暗過ぎる、「En」明る過ぎる、の表示がでます。



使用時の温度が許容範囲を外れている時は下図のようなエラー表示がでます。



3. コントラスト測定

機能ボタンで「露出測定」を選択します。測定キー「M」を押し続けると、露出計はコントラスト測定に切り替わります。キーを押したまま、被写体の数箇所を測定します(1箇所約2秒必要です)。ディスプレイには、最初の測定値と2回目以降の測定値の差がEV値が表示されます。

測定キー「M」を離すと最初の測定値が再び表示されます。



4. 露出基準値変更

露出を変えることを決めた場合、それにより工場出荷時の設定を変えることができます。

電池をいったん取り出し、すぐまた入れ直します。そうすると露出計は電池のチェックを行います。

電池チェックの間中、機能ボタンと測定キーを、シグナル音が鳴るまで押し続けてください。キーをいったん放します。変更した値の設定、変更には測定キー「M」を使用します。

機能ボタンをもう一度押し測定モードに戻します。

ディスプレイの「EV」は点滅を続けます。これは基準値が変更されていることを忘れないようにするためです。変更は1/3段刻みに±EVまで可能です。

基準値変更をキャンセルするには、電池を取り出して、入れ直します。

露出をオーバーにする場合にはプラス、露出をアンダーにする場合はマイナスに変更してください。

4 各機能説明

5. タイマー機能

デジシックスには長時間露出などに便利な 1 秒～ 30 分までのタイマー機能が組み込まれています。

機能ボタンを押して「タイマー」を出し、OK 信号が鳴るまで押し続けます。この場合ディスプレイには前回に使用した値が表示されます。「minutes」が点滅するので減算タイマーで時間を設定します。

分単位の設定には「M」キーを使います。機能ボタンを押して分設定を確認すると、「seconds」が点滅し、秒設定を促します。

秒の設定を行い、機能ボタンを OK 信号が鳴るまで押し設定を確認します。



タイマーは「Start/Stop」で操作する状態になります。

「M」キーを押すとタイマーが起動し、ディスプレイは残り時間を示します。最後の 10 秒間は断続した信号音が鳴ります。時間の最後に信号音は連続音に変わって終わります。



カウントダウンを止めるには「M」キーを押します。もう一度押すと再スタートします。タイマーは背景で動くので、露出計の他の測定機能は関係なく作動します。

各機能説明 4

6. 時計・アラーム機能

[時計・時間設定]

機能ボタンで「時計」を選択し、OK 信号音が鳴るまでボタンを押し続けます。12/24 が点滅します。

機能ボタンで 12 時間(AM/PM)または 24 時間表示を選択します。



機能ボタンで確認すると時間(hours)が点滅します。

「M」キーで時間を設定し、機能ボタンで確認します。次に分「minutes」が点滅します。

「M」キーで分を設定し、OK 信号音が鳴るまでボタンを押し確認します。

[アラーム設定]

機能ボタンで「ALARM CLOCK」を選択し、OK 信号音が鳴るまでボタンを押し続けます。時計の設定と同じやり方でアラームの時間を設定します。

OK 信号音が鳴るまで機能ボタンを押し続けます。

アラームの起動と解除は「M」キーで行います。アラームが動いているとディスプレイにベルのシンボルが表示されます。

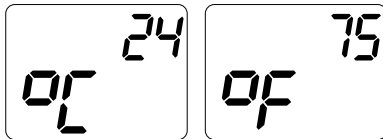
アラームは 1 分間、1 秒刻みで鳴ります。測定キーか機能ボタンを押すとアラーム音は止まります。



4 各機能説明

7. 温度測定

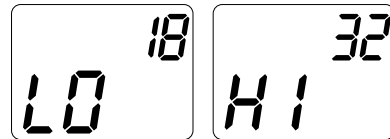
機能ボタンで「温度測定」を選択し、OK信号音が鳴るまでボタンを押し続けます。と°F表示の切り替えは、機能ボタンが表示が変わるまで押し続けます。



デジシックスは実際の周辺温度を表示します。温度測定プローブは本体に内蔵されています。ですから、もし本体を手を持っていると体温の影響が出ます。クリップでカメラに取り付けた場合は体温に影響されることはありません。

[7.1 最高・最低温度]

反復して温度を測定していると、その中の最低 (Lo) と最高 (Hi) 温度が表示されます。この最低・最高温度は前回に温度測定をキャンセルした以後に測定したもののうちの最高、最低温度です。



メモリーに記憶した最高・最低温度をキャンセルするには測定キーをOK信号音が鳴るまで押します。温度測定は2分間隔で自動的に行われ、実際の温度を表示します。この機能でフィルムが非常に高い温度に接したことがないかチェックすることができます。

取扱上のご注意と修理に関して 5

取扱い上のご注意

デジシックスは精密機器です。取扱の際は以下のことに注意いただき、長くご愛用ください。

- 汚れを拭き取るのにシンナー、アルコールなど溶剤は使用しないでください。
 - 保管に関しては湿気、ホコリ、熱の影響の無いところに収納してください。
 - 夏期は高温の自動車の中や湿気のある場所に長時間放置しないでください。
 - 低温化では電池は性能が低下します。低温下でのご使用の際は予備の電池を持つことをお勧めします。
- ご使用の際は落下などの衝撃や、液体・砂・泥などの付着にご注意ください。

尚以下のご注意が守られない場合、保証期間内であっても、保証が適用されません。

修理

お手持ちの製品が故障した場合、ご購入店または、下記駒村商会に直接お申し出ください。

株式会社駒村商会
プロフェッショナルイメージンググループ
TEL.03-3639-3351

[修理に関してのご注意]

保証期間を過ぎた修理は原則として有料となります。保証期間内でも以下のような場合すべて有料となります。

- ※保証書、または保証書に必要事項の記載が無いもの
- ※弊社カスタマーサービス以外で分解修理されたもの
- ※火災、地震、風水害など天災による故障
- ※お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、水・砂・泥の付着やカメラ内部への入り込みなど）、または保管上の不備（高温多湿や、極端な寒冷地、液体に触れる恐れのある場所での保管）、お手入れの不備（かびの発生やホコリによる故障など）により生じた故障
- ※前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障
- ※各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの

6 仕様

メーター形式	デジタル露出計
測光モード	定常光
測光モード切替	入射光、反射光、コントラスト測定
光センサー	sbcフォトダイオード
測定範囲 (ISO100/21°)	EV 0 ~ 18
シャッター速度	t = 1/2000秒~4分
絞り値	f = 1 ~ 32
調整値	±3.0
フィルム感度	ISO 6~3200 1/3段刻み
測定角度 (反射光モード)	約25°
タイマー	0秒~30分

時計	12時間または24時間表示
温度計	℃/°F切り替え
測定範囲	-15~70°Cまたは5~160°F
精度	±2°C または ±4°F
表示	デジタル液晶ディスプレイと セッティングリング
電池	3Vリチウム電池 CR2032 1個
使用温度範囲	-10°C ~ 60°C
サイズ	約 70 x 50 x 23mm
重さ	約40g(電池を含む)
付属部品	電池、ケース、ストラップ
別売アクセサリ	カメラシュー取り付け用クリップ